



下野竜也音楽総監督就任  
～広響、新時代～

# 広島交響楽団

# 「平和の夕べ」コンサート

Stage1

魂の浄化と美しき未来

Program

R.シュトラウス

交響詩「死と変容」Op.24

R.Strauss: Tod und Verklärung Op.24

ブラームス

ピアノ協奏曲第1番 ニ短調Op.15

Brahms: Piano Concerto No. 1 in D minor Op.15

# 2017.8.5 土

15:00開演 (14:00開場)

## 広島文化学園HBGホール

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:下野竜也 ピアノ:ピーター・ゼルキン


コンサートマスター:佐久間聡一 蔵川瑠美

- ◆チケット発売日/一般プレイガイド 2017年6月5日(月)
- ◆チケット料金/S:5,000円 A:4,000円(学生:2,000円)

◆プレイガイド

JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、チケットぴあ(Pコード318-943)、ローソンチケット(Lコード61951)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局(学生は広響事務局のみ販売)

主催/広島市、公益財団法人広島市文化財団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/  文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)

協賛/中国電力



花と緑と音楽の  
おもてなし

Piano  
Peter Serkin

# 「平和の夕べ」コンサート Stage 1

## ～魂の浄化と美しき未来～

広響音楽総監督、下野竜也が指揮する「平和の夕べ」Stage 1。

昨年オバマ大統領が広島を訪問し、世界から注目を集めたところだが、今年はソリストにアメリカを代表するピアノの巨匠、ピーター・ゼルキンが招かれ、得意のブラームスのピアノ協奏曲で平和への思いを奏でる。

今年で70歳を迎えるピーター・ゼルキンは、往年の大ピアニスト、ルドルフ・ゼルキンの息子として、世界最高の音楽環境に育ち、早くからその才能を開花させた。レパートリーの幅は広く、20世紀以後のメシアン、シェーンベルク、武満等

近現代作品に熱い視線を注ぐ一方、父親の陶醉を受けたベートーヴェンやブラームスがまた絶品として知られる。

特に、今回演奏するブラームスの「第1番」は深い絶望から尊い祈りを経て美しき未来へと向かう。

8月5日の広島という特別な日、特別な場所、特別なソリストで聴くことは一層格別であり、

我々に大なる感動を与えてくれるに違いない。

### 指揮 下野 竜也 *Tatsuya Shimono, General Music Director*

広島交響楽団音楽総監督。

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュツットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任。

京都市立芸術大学音楽学部教授。2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度（第63回）芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



©Naoya Yamaguchi

### ピアノ ピーター・ゼルキン *Peter Serkin, piano*

情熱的かつ高潔な芸術家として知られる米国出身の名ピアニスト。5世紀におよぶ広範なレパートリーを誇り、オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽やレコーディングなどの演奏活動を通して、世界中に音楽作品の真髄を伝えている。

アドルフ・ブッシュを祖父、ルドルフ・ゼルキンを父に持つ。ホルショフスキー、父ゼルキン、シュナーベルなどのもとの研鑽を積んだ後、1959年、G.セル指揮クリーヴランド管弦楽団との共演でカーネギーホール・デビュー。以後、小澤征爾、ブレーズ、バレンボイム、アバド、ラトル、レヴァインらの指揮で一流オーケストラと共演を重ねてきた。室内楽ではA.シュナイダー、P.フランク、ヨーヨー・マ、ブダベスト弦楽四重奏団、上海クアルテット、自らも創立メンバーの一人となっているグループ「タツジ」と共に活発な活動を続けてきた。

20・21世紀の重要な作曲家たちを熱心に支持するゼルキンは、世界初演を任されることも多く、とりわけ、武満徹、ヘンツェ、ペリオ、ナツセン、ゲール、ウオリネン、リーバーソンらが、ゼルキンのために作品を書いている。

現在、バードカレッジ音楽院で後進の指導にも励んでいる。



## Stage 2 平和を讃えよ〈レジェンド、クレメールと共に〉

2018.2.12 月・休 15:00開演 (14:00開場)  
広島文化学園HBGホール

### Program

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第11番 へ短調Op.95「セリオーン」(マーラー編曲弦楽合奏版)

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調Op.19

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調Op.61

ヴァイオリン：ギドン・クレメール ピアノ：リュカ・ドゥバルグ

指揮：徳永二男 共演：クレメラータ・バルティカ

◆チケット発売日/2017年10月16日(月)

◆チケット料金/S:7,000円 A:6,000円(学生:3,000円)



Violin  
Gidon Kremer  
©Horst Helmut Schmeck



Conductor  
Tsugio Tokunaga  
©K.Miura



Piano  
Lucas Debargue  
©evgeny evtukhov